

2006年
(平成18年)

9・1

広報 げすいどう

NO.22

■発行■

我孫子市役所 建設部 下水道課
〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地
TEL 04(7185)1111



下水道は、河川や湖沼の水質保全に重要な役割を果たしています。手賀沼遊歩道から撮影：大幸裕直さん

9月10日は第46回「下水道の日」です。 下水道の普及で実現 きれいなまちづくり

下水道は、トイレの水洗化や汚水雑排水の排除といった生活環境の改善のほか、川や海、湖沼の水質浄化にとって、なくてはならないものです。市内の家庭や工場などから流された汚水は、下水道管を流れて手賀沼終末処理場で処理され、きれいな水となって利根川へ放流されます。このような下水道の役割について理解と関心を深めていただくため、毎年9月10日を「下水道の日」とし、下水道の普及を促進しています。

見直そう！ 下水道の役割

トイレが清潔で衛生的になります

清潔な水洗トイレを使用できるようになるため、汲み取り式のトイレのような悪臭やハエなどの害虫に悩まされる心配がなくなります。

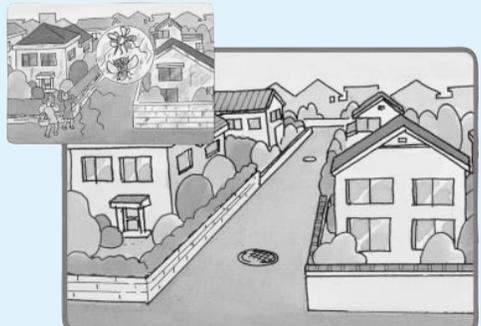


川や沼がきれいになります

各家庭から排出される生活雑排水や工場排水は、終末処理施設で処理して、きれいな水に戻してから川や沼などに流すため、魚やほかの生物が住める水質をよみがえらせることができます。

街がきれいになります

汚水を直接下水道に流すことにより、ドブがなくなり、蚊やハエなどの発生や悪臭、伝染病の心配がなくなります。街並みも美しくなり、快適かつ衛生的な生活がおくれます。



下水道の普及が手賀沼の水質浄化に貢献

手賀沼は、昭和30年代後半以降、流域で宅地開発が急速に進み、大量の生活雑排水が沼に流れ込んだことで、アオコなどの植物プランクトンが増殖し、急激に水質が悪化しました。

そして、環境省（旧環境庁）の調査が始まった昭和49年から平成12年まで、27年間日本一汚濁した湖沼という不名誉な記録が続きました。このため手賀沼流域では、下水道の普及促進やヘドロ浚渫を始めとした様々な浄化対策や住民による取り組みが行われてきました。その結果、平成16年度の排出汚濁負荷量は、約四千kg/日とピーク時（平成2年）の半分近くまで減少しました。さらに、平成12年度から北千葉導水の本格稼働により浄化用水の流入が始まったことで、水の汚濁の程度を示す化学的酸素要求量（COD）の数値は、大幅に低下し、平成13年度には汚濁した湖沼ワースト1の汚名を返上しました。

手賀沼の水質と下水道普及率

